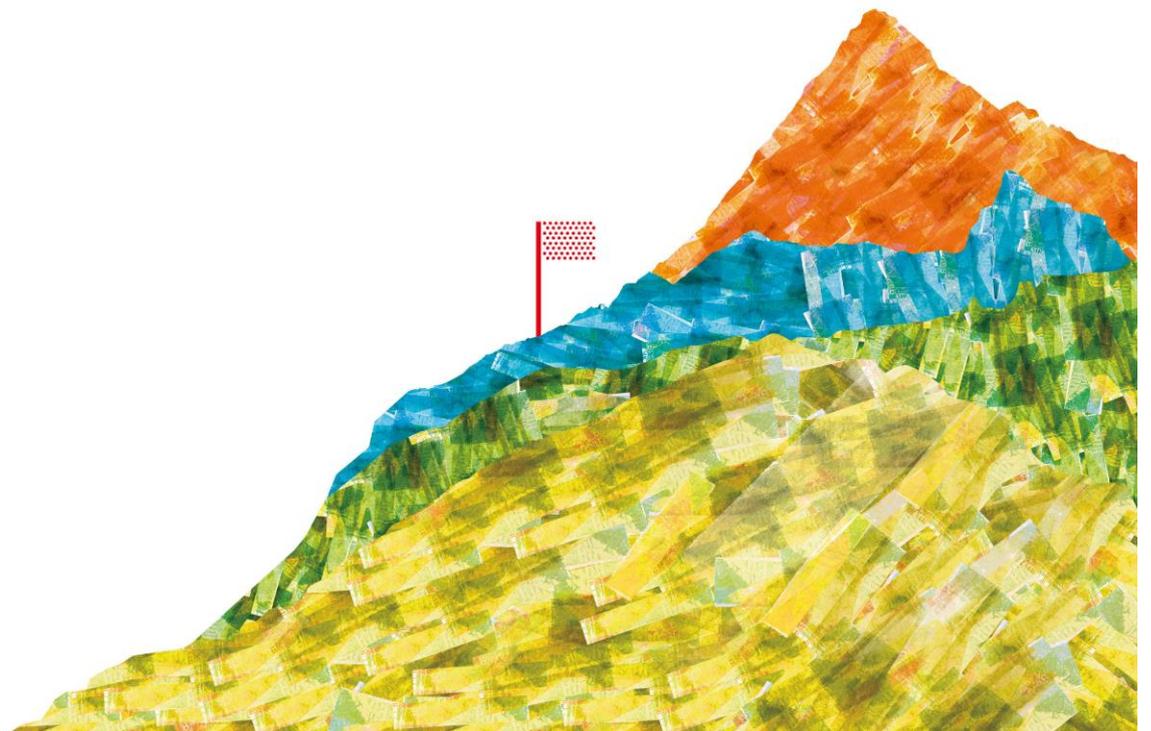


令和4年度 事業報告書

(西東京エリア)



社会福祉法人 こうほうえん

鳥取県境港市誠道町 2083 番地

令和4年度事業報告書（西東京 エリア）

1 令和4年度総括（成果、反省等を簡単に）

- 1) 東京地区で最も開設が新しい上石神井特養も3年が経過し、稼働率の安定による遅ればせながら黒字化となる。エリア内介護事業はコロナ影響も大きく、未だ赤字事業が多いが全体の底上げと保育事業の維持により、予算未達ながらエリアとして初の黒字となった。
- 2) 未だコロナ影響を年度であったが、コロナに伴う情報開示方法を予め設定していたことから、陽性者が発生した場合でも大きなトラブルや感染拡大なく経過できた。また、多くの地域活動が中止になる中、向原においては昨年へ引き続きはしまつりを開催。8法人9事業所の障害福祉サービス事業所が模擬店出店。300人以上の地域の方が参加し好評を得た。
- 3) 定期巡回・小規模多機能と新型の在宅サービスを抱えるエリアであり、サービス内容の周知を一層心がけた年度であった。近隣ケアマネジャー対応の勉強会を開催し、事業内容の共有を図った。次年度は更に進める事を目指していく。
- 4) 保育事業においては、板橋区内でも定員割れの園が9割を占めたが、当園について100%以上の稼働となった。新宿区においては園児数の減少が顕著であり、90%台の稼働となる。今後の園児数減少が見込まれる中、選ばれる保育園になるための取組（保育内容・サービスの質の向上）に取り組む。一時保育、延長、スポット等も落ち込みはしたが、コロナ禍が明ける次年度については推移を慎重に見ながら。病後児保育等のサービス周知も併せおこなっていく。

2 トピックス（新規事業、重点実施事業等（**独自で実施している地域貢献活動含む**））

- 1) 地域内で不足していた資源の創設となるべく板橋区住民主体の通所型サービス『ひとはなサロン』を立上げた。大谷口地域包括支援センターの協力も得てご入居者や地域の方の集いの場の創出はもとより、地域住民が活躍する機会の創出にも繋がった。
- 2) 併設する医療・介護事業所との連携を強化するべく向原医療介護連携会議体を改めて発足。来年度に向け勉強会や研修会等含め年間計画を策定しご入居者、ご家族、地域住民が自分らしく最期まで生活ができる体制づくりに取り組むことができた。
- 3) TEAM KAIGO を開催。近隣の中学生を対象に「知る・体感する・考える・体験する」といった4部構成で高齢者の方や介護について学びの場を創出。ご入居者も講師となりふれあいの場にもなった。
- 4) 下落合において初めてのこども食堂を開催した。上石神井特養も地域住民向けの食事試食会等の開催により、地域交流の場として認知される取り組みを実施。

3 エリア目標の達成度合とその評価（戦略会議の資料等）

- 1) 経営の安定化
 - 1) （向原住宅）、待機者リストの更新・内覧会を頻繁に実施する等により概ね1ヶ月以内で新入居者に入れ替えることができ、稼働率99.5%を達成した。レストランの賃料等収入販路の拡大により収支も前年度比較で改善している。

- 2) (向原 DH) 年間通しての登録者 18 名平均と予定を大きく下回ったが、徐々にではあるが利用者の増加が見込まれたきた。配置人財の適正化による収支は大きく改善した。
- 3) (向原訪問・定期巡回) 定期巡回登録者数平均 12 名と昨年度比較で落ち込んだものの、訪問事業の高稼働により訪問事業全体では昨年度より改善した。但し定期巡回の登録者数を増やす事が喫緊の課題であり、稼働におうじての配置人財の適性化を進める。
- 4) (向原保育) 登園率平均 103%と安定した運営となったが、一時保育、病後児保育、スポット保育ともコロナ禍影響を受けた。
- 5) (下落合 SS) 稼働率 70%台と苦戦をし、特に夏場のコロナ発生による休止による機会喪失が大きく響いた。年明けより 2 ユニット体制に移行し、現状は 100%以上の稼働を維持。今後の推移を検証していく。
- 6) (下落合 DH) 平均登録者数 24 名と昨年実績を上回り安定している。
- 7) (下落合保育) 登園率平均 89%と年度初めの 0 歳児枠が埋まらない状況が長期化し、大きく影響を受けた。年度末には 0 歳児枠も埋まり、次年度に向けて安定運営の取組を行う。
- 8) (上石神井) 特養稼働率 97%、SS 稼働率 82%となる安定した運営となった。各種加算についても取得し、入退去空床日数短縮等により黒字化を達成した。

4 入所系事業所（デイハウスは登録人数）の稼働率の推移（稼働率：小数点第 1 位）

事業所名	定員（人）	令和 4 年度（%）	令和 3 年度（%）	令和 2 年度（%）
コーシャハイム向原	50	99.5	報告済	報告済
デイハウス下落合	27 名	66.6	報告済	報告済
特養上石神井	40	96.7	報告済	報告済
ショートステイ上石神井	4	82.3	報告済	報告済
デイハウスむかいほら	27	88.8	報告済	報告済
ショートステイ下落合	27	71.9	報告済	報告済

5 各エリアの取り組み実績

年間行事一覧	<p>【4 月】お花見イベント（お花見弁当）</p> <p>【6 月】寺子屋むかいほら ～認知症サポーター養成講座～ サ高住運営懇談会</p> <p>【7 月】七夕イベント</p> <p>【8 月】納涼イベント（スイカ割）</p> <p>【9 月】認知症サポーター養成講座～声掛け訓練～ 寺子屋むかいほら ～SDG s リサイクル風車づくり～ 折り紙教室</p> <p>【10 月】TEAM KAIGO サ高住運営懇談会</p>
--------	--

	<p>【11月】 かけはしまつり 寺子屋むかいはら ～リハビリ体操教室～</p> <p>【12月】 寺子屋むかいはら PRO ケアマネージャー向け ～栗田先生講演会～ クリスマス会 冬至イベント（ゆず湯）</p> <p>【1月】 寺子屋むかいはら ～和太鼓演奏～ バザー サ高住運営懇談会</p> <p>【2月】 節分イベント バレンタインデーイベント</p> <p>【3月】 寺子屋むかいはら ～リハビリ体操教室～ サ高住運営懇談会 お花見見学 保育園お遊戯鑑賞</p>
<p>BCP 等訓練実施状況</p>	<p>○次年度の訓練実施を目指し、入門編・自然災害編・感染症編の研修に参加、BCP を策定。</p>
<p>エリア内研修状況</p>	<p>○高齢者施設コロナウィルス感染対応 ○人事考課研修 ○過度の発汗による脱水状態と適切な水分補給 ○社会福祉法人会計実務基礎 ○BCP 入門・自然災害・感染症 ○リスクマネジメント ○こうほうえん会長講話 ○ストレスマネジメント ○介護の仕事続ける人の気持ちの作り方 ○ホームページ ○介護福祉士実習指導者講習 ○メンタルヘルス ○介護職員スキルアップ研修医療的知識編 ○元気力アップのための食生活 ○高齢者虐待防止 ○高齢者虐待防止スキルアップ ○認知症ステップアップ ○認知症サポーター養成講座 ○認知症声掛け ○アンコンシャス・バイアス ○権利擁護 ○東京都ファシリテーション ○介護職の為の倫理接遇研修 ○ユマニチュード推進活動 ○ユマニチュード伝達講習 ○</p>
<p>エリア内会議、委員会活動</p>	<p>【月例会】 ○西東京エリア調整会議 ○サービス付き高齢者向け住宅 相談員会議 ○向原定例会議 ○上石神井定例会議 ○かけはし PJ 会議 ○レストラン運営会議</p>

	<p>○安全衛生委員会 ○職場環境検討委員会</p> <p>○ステップアップ委員会</p> <p>○研修検討係 ○防災係</p> <p>【定例会】</p> <p>○虐待防止委員会 ○苦情解決第三者委員会 ○広報係</p> <p>○HP 係</p>
委員会活動等の 成果・実績・反省	<p>○昨年度まで住宅の取組であった「寺子屋むかいほら」を今年度はかけはしPJメンバーで企画・運営・開催を行なった。「ずっと自宅で生活し続けるために」をコンセプトに7回/年、開催することができ、勉強会や体操、演奏会など150名の地域の方々が参加された。事業所の壁を越え、職員間の連帯感向上にも繋がった。</p>

6 人財状況

外部研修等講師派遣 実績	東洋大学ライフデザイン学科 介護福祉士実習報告会
外部役職就任状況	
外部表彰受賞状況	

7 地域貢献実績（保育所含む）

<p>実習受け入れ実績</p> <p>延人数 14人</p>	<p>上板橋第二中学校</p> <p>上石神井：武蔵野大学1名 武蔵野大学別科2名 計3名</p> <p>DH向原：東京家政大学、東京通信大学、日本福祉教育専門学校、早稲田大学、帝京科学大学</p>
<p>ボランティア受け入れ実績</p> <p>延人数 221人</p>	<p>植栽活動、イベント手伝い、軽作業、歌</p>
<p>見学受け入れ実績</p> <p>実人数 60人</p>	<p>入居希望者、学生</p> <p>上石神井：入居希望20名 学生1名 計21名</p> <p>DH向原：20名</p> <p>下落合：学生25名、施設見学3名、大学教授4名 計32名</p>
<p>地域交流活動実績1</p> <p>実施回数 10回</p> <p>実人数 450人</p> <p>延人数 450人</p>	<p>（事業所内又はこうほうえんが主催した交流事業）</p> <p>向原住宅：寺子屋むかいほら150名、かけはしまつり 300名</p> <p>上石神井：近隣住民対象 施設食試食会 実施1回 8名参加</p>

<p>地域交流活動実績 2 <u>実施回数 1回</u> <u>実人数 6人</u> <u>延人数 6人</u></p>	<p>(地域の交流事業に利用者と共に参加したもの) 寄席</p>
<p>ボランティア・環境 活動参加実績 1 <u>投入実人数 11人</u></p>	<p>(清掃活動・消防団活動・地域防災活動等) 向原地域クリーンデー 板橋区防災訓練</p>
<p>ボランティア・環境 活動参加実績 2 <u>投入実人数 4人</u></p>	<p>(見守り活動・学校活動の手伝い等) 職場インタビュー 職場体験</p>
<p>地域発信活動実績 (介護、看護の日、 イベント開催等)</p>	<p>なし</p>
<p>地域発信活動実績(認 知症サポーター養成講 座)</p>	<p>2回、養成者数 14名、資格者投入人数 0名</p>
<p>地域発信活動実績 (講習会、講演会の主催 及び参加等)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・東京都健康長寿医療センター研究所副所長 栗田主一医師講演会主催 ～認知症であっても、一人暮らしであっても安全・安心に暮ら せる環境づくりをめざして～ ・事業者交流会参加(発表友重:住民主体通所サービス事業立上げ) ～地域で暮らす・働く・活動するを実現するためには何が必要 か～ ・板橋区権利擁護関係機関連絡会 参加 ・板橋区総合ボランティアセンター主催 施設と地域をつなげるオンライン活用術 参加 ・板橋区第2層協議体 支え合い会議大谷口 ゆるやかご近所さん養成講座参加 ・認知症カフェ デジタルデバイド是正事業 参加